

# 事業報告書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

特定非営利活動法人 隠岐しぜんむら

## 1 事業実施の内容

隠岐の自然環境を保全するための活動として、生物調査・保全活動・環境教育・エコツーリズムを行いました。自然専門機関としての能力を高め、地域資源を発掘し活用することを通して、自然を生かした地域づくりに貢献し、地域住民が受益者となることで、さらに自然が保全されるという循環をつくり出すことを目指して各事業を実施しました。また、自然環境教育の強化を目的とした活動の一環として、森のようちえん「お山の教室」事業を充実させ、団体運営の基軸として安定化に努めました。

新型コロナ蔓延の度に影響を受け、エコツアーガイド事業や交流事業など島外者と接触する可能性が高い事業の実施が困難な時期がありましたが、昨年度に比べると世の中の環境への適応もあり実施に踏み切るケースも見られました。常に感染リスクの低い方法が求められ、対応を模索しながら事業を推進しました。

### (1) 自然環境保全事業

環境省や、保全調査活動を専門とする公益財団法人と連携し、隠岐の生物調査を実施しました。

鳥類については、前年度に引き続き鳥学会鳥類目録第8版発行に向けた隠岐地域の調査として、島前地域のみならず島後地域についても調査を強化しました。また、自主的調査では、陸産貝類であるヒメオカモノアラガイとキバサナギガイの2種を、隠岐諸島の新産地を無人島である海士町二股島で確認しました。そして、その成果の記録として論文を執筆寄稿しました。調査活動報告としては、隠岐の文化財へクロシジミについて執筆寄稿しました。

地域住民を対象とした自然保護の啓発活動としては、昨年度に引き続き助成金事業を活用してハンドブックを制作しており、第2弾として西ノ島町・知夫村の花ハンドブック発行の準備を進めているところです。

直接的な生物保護活動として、金光寺山のオニヒョウタンボクとホタルカズラ及び諏訪湾の葦原の保全活動を実施しました。

### (2) エコツーリズム事業

新型コロナの影響により、昨年度同様予定されていたガイド業務や自然体験がキャンセルになることが頻繁にありました。ただ、前年に比べるとコロナ禍での行動に慣れも出てきていることから、蔓延期間外などに観光客にガイドや自然体験を実施することができました。

また、今年度も新型コロナの終息時に向けた対策として助成金を活用し、新たなツアーメニューの開発に尽力し、パクラフトとトレッキング、漂着ごみクリーンアップを組み合わせたツアーを造成しました。

島内者向けには、隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会と協働して、ガイドスキルアップ講座の講師を務めました。実際にフィールドに出て動植物などについて学びながら、ガイド力や知識の向上を図りました。

### (3) 環境教育事業

海士町教育委員会との協働事業である森のようちえん「お山の教室」の活動は、週5日開催が5年目を迎えました。昨年度は参加者数が13名でしたが、今年度末時点では定員14名を上回る16名と2割程度の増加となりました。今年度で活動資金の裏付

けとなっている事業費の区切りが来ますが、海士町とも良好に協議が進んでおり、来年度以降も安定的に事業継続できる見通しです。昨年度スタートした未就学児以外の自然体験の場・プレーパーク活動は開催回数を増やし、年間4回から6回となりました。ボランティア・スタッフとして地元高校生も加わり、地域課題についての学びの場ともなっています。

学校対象の環境教育活動としては、島根県の助成金の活用や隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会との連携により、海士町、西ノ島町内の全小中学校への出前授業を安定的に提供できました。コロナ禍により予定していた日程が延期になるということもありましたが、昨年度同様年間30日間以上の講師活動を行うことができました。高校に対する取り組みとしては、隠岐島前高校の生徒が通う公立塾・隠岐国学習センターでのゼミ開催が定着しています。また、昨年度から出前授業に出向くようになった島後の隠岐高校では内容をより深め、ジオパークとSDGsを絡めた環境教育を提供しました。その中で、SDGsカード・クロスを元に簡易版として島後版SDGsカードを完成させることができました。

#### (4) 都市農村交流事業

新型コロナ感染拡大の影響を受け、指定管理を行っている都市農村交流センターへの宿泊受け入れを昨年度に引き続き休止しました。これにより、大人の合宿や研修の宿泊実績は昨年度同様ほとんどありませんでした。流行の合間を縫って、長年利用して頂いている常連客からの問い合わせが時折見られました。一方、自然体験者受け入れによる活動では施設利用実績は新型コロナ流行前に比べると劣るものの堅調で、お山の教室参加者や島根県の自然体験参加者、インターン生の利用がありました。

#### (5) 地域住民生活支援事業

各学校の入学・卒業記念写真の撮影を今年度も継続して実施いたしました。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支報告書の事業費の金額(単位:千円)
自然環境保全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生物調査活動</li> <li>・海岸の保全活動</li> <li>・公共事業における助言、調査</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4 人	(D) 隠岐郡の住民 (E) 2,400 人	5,672
エコツアーリズム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツアーの新メニュー構築</li> <li>・住民向けジオパークガイド講座開催のため、推進協議会との協働</li> <li>・ガイド育成のための講座における講師</li> <li>・島内外小学生自然学習の実施</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4 人	(D) 隠岐郡内の観光関係者や商店等、来島者 (E) 200 人	12,710
環境教育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幼児、小中学生への環境教育活動</li> <li>・森林環境学習教室の開催</li> <li>・学生、企業、公務員等社会人対象自然環境研修の講師及び助言、補助</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 14 人	(D) 全国 (E) 2200 人	31,180
都市農村交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内者と島外者の交流活動</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡海士町 (C) 4 人	(D) 全国から海士町を訪れる旅行者と地域住民 (E) 220	3,489
地域住民生活支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校記念写真撮影</li> <li>・地域野良猫対策の支援</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 2 人	(D) 隠岐郡の住民 (E) 100 人	47